

2025**「満名川」**

令和7年7月4日（金）

発行者

校長 根路銘国哉

本中だより第11号



7月に入り、1学期も残り少なくなりました。連日暑い日が続き、熱中症など生徒の体調面が気になるところです。各ご家庭でも水分をこまめにとるなど十分な対策をお願いいたします。このような中ですが、朝早くから合唱や長距離走の練習に励む生徒やあいさつ運動や清掃活動を頑張っている生徒もあり、元気な生徒の姿にいつも励まされております。また、学校近くの交差点では、暑い中にも関わらず地域の皆様に交通安全やあいさつ運動に協力していただいております。生徒の皆さんは、明るいあいさつで地域の方々に感謝の気持ちを伝えていきましょう！

**★本部町PTA功労者表彰式・ソフトバレーボール大会★**

6/29（日）、町PTA功労者表彰とソフトバレーボール大会が行われました。本部中PTAから、喜納七重さんが表彰されました。ソフトバレーボール大会では、決勝戦まで熱戦が続き本部中PTAは準優勝を果たしました。参加された皆様お疲れ様でした！

**★中体連夏季大会を終えて（生徒の感想）★ 一部修正・抜粋**

- ・中体連では、サッカーで守輝さんが1回戦で先制点をとったのがすごいと思った。チームの連携もとれていてチームワークがよかった。県大会では優勝してほしい。(3-1新城杜晃)
- ・地区大会優勝して県大会はベスト4に入ることを目標に日々の練習を頑張ってきました。中体連1日目は、目標の「30点差をつけて勝つ」を達成できたけど、2回戦の屋部中とのし合いで競り負けてしまいました。今までのバスケ生活の日々が脳内再生されて涙が止まりませんでした。チームのラストミーティングでは、3年生1人1人の思いや顧問の先生からの想いなど、聞いて「悔しい」という言葉しか出てこなかったけど、このチームで頑張ってきたメンバーや監督、保護者に感謝して、残りの中学生生活頑張っていきたいです。この悔しさを忘れず高校でも頑張りたいです。(3-1黒島心美)
- ・自分達は、試合を想定した練習の成果がでたと思う。1試合目ではみんな緊張していて力が出せず悪い空気だったけど、1アウト1、3塁の場面で、自分がアウトを取れた流れがきて勝つことができました。決勝では、6回表まで息詰まる試合で、6回裏のチャンスに自分がまわってきたときに、ヒットを打って勝利をつかみました。県大会でも活躍して勝利をつかみたいです。(3-1並里遙世)
- ・1日目はたくさんの応援団がきてくれたおかげで、圧勝で勝つことができました。チーム自体も盛り上がるのができたし、私達の流れになることが多かったのととても楽しかったです。2日目は、絶対勝てる相手に負けてしまって、みんな悔しい思いをしました。結果は変えられないけど、もっとやれることがたくさん思い当たり、とても悔しいです。男バスが頑張って勝ってくれたので、県大会でもぜひ頑張りたいと思いました。(3-1大城杏慈)
- ・僕は男子バレーで参加して、勝てる試合を自分のミスで落としてしまったのがとても悔しかった。県大会ではできるだけミスを減らして、まずはチームで1勝できるように頑張りたいです。(3-2仲程大翔)
- ・地区中体連は体調不良でメンバーがそろわず、チーム目標の地区優勝ができず、自分も気持ちが弱くて大事なところでシュートを外して悔しかったけど、県大会に向けて全力で練習に励みたい。(3-2仲田騎利都)
- ・1試合目が前の大会で合同チームの伊是名が相手で、伊是名とは合宿をして決勝で会おうと約束していたので、試合には勝ったけど複雑な気持ちでした。準決勝では、羽地と戦って気合い入れて頑張ったけど、負けて悔しかった。だけどチームの誰も相手チームの文句を言わずに悪かった点や良かった点を出していたので、チームは大事だと思いました。(3-2具志堅守輝)
- ・自分は、中1からやってきたことをすべて発揮するために、声を出していい作戦を立てながら、最後の試合を頑張ることができました。反省点はありません。次は高校に受かるために勉強を頑張りたいです。(3-3石川翔太)
- ・1日目は、上本部にストレート勝ちし、名護戦は負けてしまいました。2日目の羽地戦は、これまでやってきたことを全力でつくろうと思っていたけど、「これで負けたら終わり」というプレッシャーで、自分の強みであるサーブが、入れるだけのサーブになってしまったり、スパイクも思いっきり打てず、自分のベストを出すことができませんでした。中体連でだせなかった自分のベストを、バレーボール祭りで発揮できるようにしたいです。(3-1嘉数結夢愛)
- ・団体戦では、チームを信じてできる限りのことを尽くし、個人戦では、自分の限界の力を出し切り、県大会出場を決めました。県大会では、チームの勝利を担って戦える選手になれるよう、日々の練習を頑張りたいです。また、個人での実力を試し、高校での部活への第一歩となれるように、上っていきたいです。(3-2城間俐乃)
- ・私達吹奏楽部は、初戦からずっと野球部を応援してきました。最初は軽い気持ちで応援していましたが、日々応援するにつれ、キツさも感じましたが、勝って優勝してほしい思いもありました。そして優勝したときは、上中と本中の生徒全体が、自分事のように喜んでいたので、素敵だと思いました。県大会では、応援に行くのが難しくなると思いますが、ぜひ勝って、最後のいい思い出を作りたいと思いました。(3-3知念聖羽莉)

・・・裏面に続きます・・・

★中体連夏季大会を終えて（生徒の感想）★ 一部修正・抜粋

・3年生が最後の大会で、私は野球部マネージャーとして、ベンチに入りました。1回戦は、伊江中とのし合いで、選手はとても緊張している中、1-1の同点で迎えた最終回で5点を取って勝ちました。2回戦は、ゆがふいん大会5-0で負けた金武中との試合でした。県大会に出場できるかできないかが懸かっている試合だったので、みんなドキドキしながら挑みました。無事2-1で勝ち上がって県出場を決めたので、これからの3年生との部活を楽しみたいと思います。(2-1島袋琉華)



・中体連は、自分達より年上の3年生相手の戦いで、試合が始まる前は、ネガティブな気持ちでした。ですが、仲間とチーム一丸となって、「大丈夫！勝てる！」と、たくさんの励ましと応援をもらいました。団体戦は負けてしまったけど、個人1回戦は、全チームが一勝し、テニス部みんなで喜びを分かち合いました。不安な気持ちで練習して向かえた本番でしたが、大会に出た人も出なかった人も、みんな「輝いた、頑張った」と言うことがとてもいいなと思いました。たくさんの応援ありがとうございました。(2-1具志堅優幸)



・僕はバスケ部として参加し、1回戦から強豪の羽地中とあたりきつい場面もありましたが、勝って良かったです。あと一歩というところで決勝戦に進むことができなかったけど、バスケ部のエースがいない中でも、ベスト4に入れたので自分達にも自信がつけました。県大会では、大きな目標の優勝をしたいです。(2-2松田恵監)

・自分は、男子バスケの応援に行き、みんなが一丸となって応援していたので、自分も本部長の一員として応援できたのでよかったです。自分は、クラブチームでやっているけど、自分も本部長に負けられないように練習をしていきたいです。(2-3眞部清斗)

・男子卓球は準優勝でした。金武と大宮には勝てましたが、決勝で名護に負けました。自分が悪かったところは、サーブです。同じコースしかねらっていないサーブだったので、次からは色々なところがねらえるようにしたいです。個人戦は2回戦で負けたので、負けた原因を考えて改善し、来年はもっと良い結果を残したいです。(2-1上間琉生)

・卓球部として、チームの応援も、選手として試合に出ることもできました。団体戦では、響さんとダブルスで出場し、1勝2敗の結果でした。個人戦では、2回戦に第4シードの選手と戦い、惜しくも負けました。県大会では、団体でしか出られませんが、味方の足を引っ張らないように、練習を頑張りたいです。(2-2城間一慶)



・私は、女子卓球団体に準優勝してうれしかったけど、決勝の名護との試合で負けてしまい、個人でももう少しでベスト8までいけたのに負けてしまいました。負けたときにもっと真面目に練習すれば良かったと後悔したので、日頃からしっかり練習することを心がけていきたい。でも、いい経験ができたと感じた。(2-3古堅奈桜)

・中体連では悔しい思いをたくさんしました。団体戦では自分の持っている力を全て出し切ることができなくて、ミスばかりしていました。これが原因で、ペアだけではなく、チームにも影響を与えてしまいました。個人戦も、1勝はできたけど、2回戦で、ストロークやファーストサーブが決まれば勝てた相手に負けてしまいました。でも、ペアの純愛さんとのタッチや声かけをできたことや、応援も全力でできたことなど、いい点もたくさんありました。だから、これからの練習をもっと本気で取り組んで、来年は悔いのない試合ができるように頑張りたいです。(2-1金城結花)

・私は、今回の大会で、勝ち負けの悔しさやうれしさ、保護者やコーチなどの温かさを知ることができました。勝ったときはとてもうれしかったけど、負けたときは悔しくて涙が出たけど、後悔のない楽しい試合ができたので、とてもよかったです。(2-3宮里純愛)

